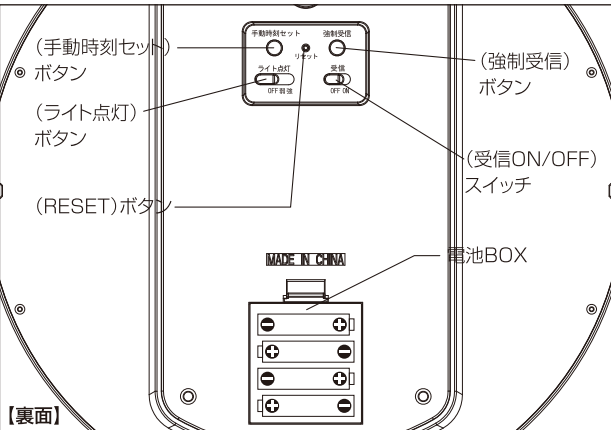


●商品の特長

- この時計は正確な時刻情報をのせた標準時刻電波を受信すると自動的に現時刻を表示する電波時計です。
- 電波の受信できない場所では、クォーツ時計として作動し、その誤差は月差±30秒です。
- 40kHz／60kHzいずれか受信状況の良い周波数の電波を選択して受信します。自動受信機能により1日に6回(午前1、3、5時、午後1、5、9時)、自動時刻修正のための受信動作を行います。
- 文字板ライト点灯(午後10時～午前6時の間)
- 秒針停止機能(午後10時～午前6時の間)
- 受信ON/OFF切替え

●各部の名称



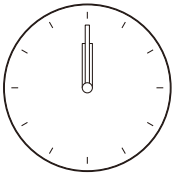
●ご使用方法とご注意

■時計を合わせる

- (受信ON/OFF)スイッチをONにします。次に電池を入れます。
- ①電池ホルダーの表示に従い、電池を(+)(-)方向を間違えないように完全にはめ込んでください。絶縁フィルムが付いている場合は、取り出してください。
 - ②リセットボタンを押してください。

注意	<ul style="list-style-type: none">●(+) (-)を逆に入れますと時計は動きません。又、故障の原因になります。●付属の電池はモニター用電池のため、記載の電池寿命に満たない場合があります。(モニター用電池は時計機能や性能を確認するための電池で、時計本体価格には含まれていません。)
-----------	---

- ③針が高速で回転して、12時の位置で停止し、初期受信を開始します。
- ④受信に成功すると、針が高速で回転して、受信した時刻を表示します。受信に失敗した場合、運針を開始し、次の自動受信時刻に再度受信します。受信できなかった場合は、その後自動受信時刻に受信を行います。
※受信中に本機を動かしていると受信能力は低下します。
※電池をセットしてから受信完了まで4分から12分程度かかりますが、地域、環境条件によって異なります。
※夜間は昼間と比べて電波受信状況が良くなるので、昼間受信できなかった場合は、夜間に受信を試みてください。
※万一、正常に受信しない場合は、窓際など電波を受信しやすい場所に置いてもう一度上記②～④を行って受信させるか、後記「■手動で任意の時刻を設定する」で時刻設定をしてください。



●受信しづらい、まれに誤った時刻を表示するなどがあったときは。

ご使用していて、受信がしづらい、誤った時刻を表示するなどを感じましたら、窓のそば、送信所に対する商品の方向を合わせる、金属製品から離すなど、置き場所を変えてご使用いただくと、それらの症状が改善されます。電波時計は、微弱な電波を受信して時刻を修正しています。この微弱な電波を受信するアンテナは、送信所に対しての向きが合っていない場合、すぐ近くに金属製品がある場合、取扱説明書に記載のノイズの発生源が近くにある場合や、地下室、ビルの中など電波のとどこにくい所では、その性能を十分に発揮できません。

■自動受信機能

自動受信とは、あらかじめプログラムされている時刻になると、自動的に受信動作を行い、自動で時刻を修正することを言います。この時計では1日に6回(午前1、3、5時・午後1、5、9時)、受信動作を開始します。

■受信ON/OFF切替え

- 電波を受信させたくないときや、電波の届かないところ、受信しづらい場所で使用する場合などに使えます。裏面の(受信ON/OFF)スイッチをOFFにすると、電波は受信せず通常のクォーツ時計として動きます。
- 受信OFFの状態から受信ONに切替えると、針が高速回転して12時の位置で止まり、受信モードに入ります。約4分から12分後に受信して正しい時刻を表示します。(正常に受信できなかったときは元の表示時刻を表示し、自動受信時刻に受信動作をします。)



■秒針停止機能

午後10時から午前6時の間は、秒針が12時の位置で停止します。

■自動受信以外で受信させる

- 任意に受信動作をさせる機能です。
- ①(受信ON/OFF)スイッチがONのとき、通常運針をしているときに(強制受信)ボタンを3秒以上押し続けると「強制受信」になり、針が高速で回転して、12時の位置で停止し、受信動作を開始します。
 - ②受信に成功すると、針が高速で回転して、受信した時刻を表示します。受信できなかった場合は、強制受信を行う前の時刻を表示します。
※受信中に本機を動かしていると受信能力は低下します。
※受信に成功するまでの時間は、4分から12分程度かかりますが、地域、環境条件によって異なります。
※万一、正常に受信しない場合は、窓際など電波を受信しやすい場所に置いてもう一度(強制受信)ボタンを押して受信させるか、後記「■手動で任意の時刻を設定する」で時刻設定をしてください。

■手動で任意の時刻を設定する

受信環境の良くない場所で、受信動作をさせて受信できない場合でも手動で時刻をセットすることができます。

- [時／分／秒針が通常運針しているとき]
- ①通常運針をしているときに(手動時刻セット)ボタンを3秒以上押し続けると、秒針が12時の位置で停止して「手動時刻設定モード」になります。
 - ②(手動時刻セット)ボタンをもう1度押して、時刻をセットしてください。(手動時刻セット)ボタンを短く1回押すごとに分針が1分ずつ動きます。1秒以上押し続けると、分針は早回りします。
 - ③時刻設定後、(強制受信)ボタンを押すと通常運針を開始します。
 - ④設定後③を行わなかった場合、約30秒後に設定した時刻から通常運針を始めます。
※設定後、秒針が12時位置で停止して動かない場合は、その時刻は秒針停止時間帯の午後10時から午前6時の間の設定です。
※手動設定で時刻を合わせた場合、(受信ON/OFF)スイッチがONのときは、次の自動受信時刻に自動受信を行います。

[秒針が12時位置で停止しているとき](午後10時～午前6時のとき)
(手動時刻セット)ボタンを3秒以上長押ししてボタンから指を離れた後、すぐに(手動時刻セット)ボタンを押すと分針が動き、時刻を設定できます。短く1回押すごとに分針が1分ずつ進み、押し続けると早回りします。※時刻設定後、秒針が12時位置に停止して動かない場合は、その時刻は秒針停止時間帯の午後10時から午前6時の間で設定されています。※手動設定で時刻を合わせた場合、(受信ON/OFF)スイッチがONのときは、次の自動受信時刻に自動受信動作をします。

■リセット時(電池交換時など)に手動時刻設定する場合

- [(受信ON/OFF)スイッチがONのとき]
- ◆(リセット)ボタンを押した後、針が12時位置で停止しているとき
(リセット)ボタンを押した後、最初の約4分間は40kHz/60kHzの両局をサーチしながら受信動作をします。その後約8分間は、受信しやすい周波数で受信動作をします。
 - ①(リセット)ボタンを押した後、約4分以内に(手動時刻セット)ボタンを3秒以上長押しすると、秒針が通常運針します。この場合は、上記 [時／分／秒針が通常運針しているとき]の手順に従って時刻設定してください。
 - ②(リセット)ボタンを押して約4分以上経過してから(手動時刻セット)ボタンを

- 3秒以上長押しすると、秒針は12時位置で停止したままです。手動時刻設定モードになっているので、(手動時刻セット)ボタンをもう1度押して時刻を設定してください。
- 針が12時位置で停止中に何も操作しない場合、受信に成功すると正しい時刻を示し、受信できなかった場合は約12分後に通常運針を開始します。受信できなかった場合に手動で時刻設定したい場合は、上記[時／分／秒針が通常運針しているとき]の手順に従って操作してください。

- [受信ON/OFFスイッチがOFFのとき]
- ◆リセットボタンを押した後、針が12時位置で停止しているとき
上記[秒針が12時位置で停止しているとき]の手順に従って時刻設定してください。
 - 針が12時位置で停止中に何も操作しない場合、約12分後に通常運針を開始します。上記[時／分／秒針が通常運針のとき]の手順に従って時刻設定してください。
 - ※リセットボタンを押した後、針が高速回転中は手動時刻設定ができません。
 - ◆午前/午後の確認
リセットボタンを押したとき、針が高速回転後12時位置で停止したときの設定は午後12時00分(正午)です。従って、12時間経過させないで、例えば5時に設定した場合は午後5時ということになります。午前5時に設定したい場合は、時分針を更に12時間進めてください。(午後10時から午前6時の間秒針が停止する機能があるため、このような操作が必要になります。)

■電池交換

必ず新しい電池をお使いください。電池交換は4本一度に行い、電池交換した後は、リセットボタンを押してください。

●文字板ライトについて

午後10時～午前6時の間、文字板ライトが点灯します。ライトは、強、弱の2段階の輝度が選択出来ます。※ライトを使用しない場合、本体裏面のライトOn/OffスイッチをOffにすると、ライトは点灯しません。旅行などで留守にする場合など電池消費の節約になります。



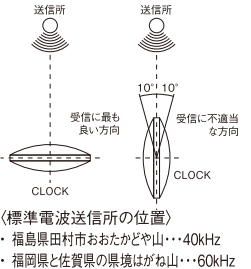
●蓄光塗料について

(蓄光塗料付きモデルの場合)

- 1.蓄光性塗料の特徴として、時間の経過とともに明るさが低下します。
- 2.蓄光性塗料は紫外線を含んだ光を蓄えて発光します。白熱電球などは紫外線の量が少ないため、光源として適しません。
- 3.視力などの個人差、周囲の明るさ、時計との距離などにより、視認できる時間に影響がでます。

●電波時計の設置場所について

- 1.受信しやすい場所
 - 電波時計は、長波標準電波を受信し、表示する時計ですので電波を受信しやすい場所(例えば窓の近く)に時計を置いてください。
- 2.受信しやすい方向
 - 時計の表示部、または裏面を標準時刻電波送信所に向かい合う位置に置くこと、最も受信状態がよくなります。

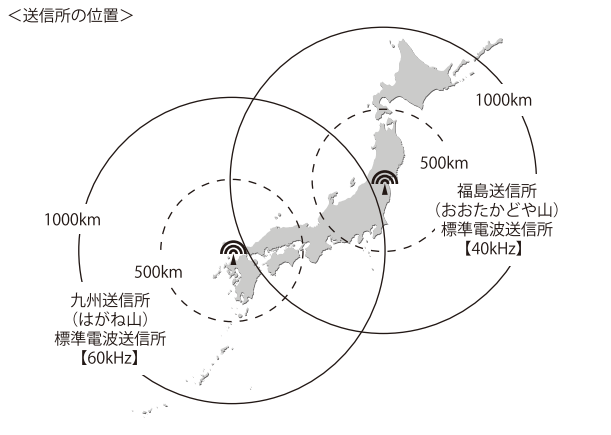


注意 ●日本と時差のある諸外国で使用する場合、まれに日本標準時刻電波を受信して、日本の時刻を表示する場合がありますので、ご注意ください。

- 1.受信について
 - 受信中は時計を動かさないでください。(受信中に時計を動かしていると、受信能力が低下します。)
 - 極端に高温や低温のところでは受信能力が低下します。
 - 受信中はボタンの操作をしないでください。(受信解除時を除く。)
 - 気象条件、地形や時間帯により受信能力が制限されることがあります。通常、深夜帯は受信しやすくなります。
 - 好条件下では送信所からおよそ1,000km先でも受信することができます。(一部の離島を除く、日本全域の範囲)
 - 送信所の保守作業や落雷・積雪対策などで電波送信が一時中断されることがあります。送信状況は情報通信研究機構のホームページ(<http://jijy.nict.go.jp/jijy/log/index.html>)でご確認ください。※ホームページは予告なく変更されることがあります。

●電波時計について

電波時計とは、正確な「日本標準時」をのせた標準電波を受信して正確な時刻を表示する時計です。標準電波は独立行政法人情報通信研究機構が運用しており、福島県の「おたかどや山(40kHz)」と、福岡県と佐賀県の県境の「はがね山(60kHz)」の2か所から送信されています。これらの電波は条件の良い時は発信所から1,000～1,200km離れた距離でも受信可能とされ、ほぼ日本全国をカバーしています。ただし、受信範囲内であっても天候・地形・建物・時間帯・置き場所・時計の向きなどの影響で受信できない場合がございます。その場合はクォーツ時計として製品仕様に記載された精度で作動します。



標準電波・電波送信に関する詳しい情報はこちらのホームページをご覧ください。
日本標準時プロジェクト <http://jijy.nict.go.jp/>
※送信設備のメンテナンスにより電波が停波される場合がございます。※上記のURLは予告なく変更される場合があります。

●使用場所について

本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。ご使用の際は出来るだけ、電波を受けやすい窓際などにおいてください。次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。

- ビルの中、ビルの谷間、地下。
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。
- テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器の近く。
- 工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など、電波障害の起きる所。
- 乗り物の中(自動車、電車、飛行機など)
- その他電波ノイズを発生させるものの近く。
- スチール机等の金属製の家具の上や近く。

